

**嶋崎友香副議長**

ここで市長より総括的な講評をいただきます。

**佐藤栄一宇都宮市長**

議長，市長

**嶋崎友香副議長**

市長

〔佐藤栄一宇都宮市長 登壇〕



ジュニア議員の皆さん，大変お疲れ様でした。恐れ入りました。素晴らしい質問，そして提言をいただきました。

まず，「平成親力向上委員部会」でありますけれども，家庭教育と食育についてご提案をいただきました。朝食のレシピのお話がありました。朝食がなぜ必要なのかということでもありますけれども，昔から朝食は必ず食べるように，大切だからと私も小さい頃から言われてきました。なんとなく言われてきたから，朝食は必要だろうと思っていましたけれども，最近，専門家の方が，しっかりとデータを取りました。それは，朝食を抜くと，学校で学力の差が出てしまうということです。朝食を摂った子は，やはり学力がしっかりしている。摂ってこない子は，学力がなかなか上がらない。そういう成果が出たそうであります。理由は，朝食を摂ることによって，人は脳の中にブドウ糖が大量に発生します。ブドウ糖が発生して前頭葉が動くんですね。だから考える力が身に付く。朝食を摂らないと頭が動かない。体だけ起きて，学校に行っても頭が起きていないから，勉強が分からない，ついていけないということになるそうです。そしてもう一つ大切なのが，セロトニンという物質。これは朝食を摂ることによって，頭の中に分泌されるそうです。このセロトニンというのは，人の感情をコントロールするという作用があるそうです。ですから朝食を摂っていると，学校に行っても精神的にも安定する。ところが摂っていないと，3時間目，4時間目になるとお腹が空いてくる。お腹が空いてくるから，セロトニンが動かないのでイライラしてしまう。イライラして席に座っていられなかったり，あるいは，我慢が出来なくなったり，そういうことだそうでございます。ですから朝食というのは大切であるということ，ぜひ皆様方にも多くの方々に語っていただければと思います。

また，次の「次世代まちづくり協議部会」では，オリオンスクエアのPRとイベントの提案をいただきました。ロゴマークを今度作成いたしますから，そのロゴマークをもとに，

特に平日の活性化、平日の利用に、これからも力を入れていきたいと思います。

また、「もの知りアグリ部会」では、宮のもの知り達人検定についての提案、そして、うつのみやアグリファンクラブについての提案と質問をいただきました。その中で、今年は記念すべき宮のもの知り達人検定が第1回目であるから、市長から満点合格者には合格証書を手渡ししたらどうかということでございます。さっそく実施したいと思います。もし仮に、満点がいなかった時には、最高点の方に手渡しするというところで実施をさせていただきたいと思います。また、受験料でありますけれども、来年からは配慮いたしまして、高校生以下は無料にしていきたいと思いますので、ぜひ、挑戦をしていただきたいと思います。また、アグリファンクラブでありますけれども、農業の自給率の話がありました。次長からの報告によりますと、フランスは122%、アメリカは128%、そしてオーストラリアは237%という高い基準です。どの先進国も、自分の国の国民の胃袋を守ることができるわけでありまして、そういう先進国でさえも、いつまでも日本に輸出してくれるとは限りません。なぜならば、地球上の人口は、20世紀初頭は20億人位だったのですが、2050年にはおよそ90億人になるだろうと言われております。90億人ということは、当然、食糧と水が必ず不足してきます。そういう先進国でさえも、輸出なんか出来ない、他の国はかまわれないという時代が来ます。だから、日本も、そして宇都宮も、いつでも市民の皆さんに安全で安心して新鮮な農産物を提供できるという体制を、今から作っておかなければならないということなんです。ですから、農業というのは大切な問題でありますし、農業を疎かにするような都市というのは、これから衰退してしまいます。皆さんにいつでも安心していただける、そういう供給体制を作るためにも、農業改革を、これからも一層推し進めていくことを皆様方にご報告したいと思います。

また、「THE!環境部会」では、中心部の屋上緑化、あるいは、バイオ燃料の活用と導入といったことで、ご提案をいただきました。環境問題、これは大きな地球上の問題です。このまま放っておくと、本当に人類が住むことができなくなり、地球が破滅してしまうでしょう。それを今、我々の手で止めなければならないと思います。地球に住んでいる我々は、日本人、あるいはアメリカ人、そういった人種にとらわれることなく、一人の地球市民です。地球市民として、今の地球は預かり物。これからの子どもたちの地球を、一時預かっていることにすぎません。その預かっている期間、少しでも良いかたちで、これからの子どもたちにバトンを渡していく。地球を譲り渡していく。これが我々地球市民の責任と義務です。京都議定書というのをご存知かと思いますが、温室効果ガスを6%削減しましょうということになりました。ところが京都議定書を定めた時点で、宇都宮市は、すでに18%オーバーをしておりました。つまり、京都議定書を含めると、24%の温室効果ガスを削減していかなければなりません。宇都宮は日本一ガソリンの消費量が多いまちです。環境問題というのは、当然、我々としては前向きに対処していかなければなりません。これからの子どもたち、そして、今住んでいる人たちの健康の問題も含めて、宇都宮は環境問題には積極的に対応していくことを、お誓い申し上げたいと思います。

また、最後になりますけれども、「m i y a 部会!!」では、市内の活性化と新交通システムL R Tについてご提案をいただきました。市内の活性化、特に中心部の活性化というのは、これからのまちづくりには不可欠です。中心部に魅力がなかったら、宇都宮に移り住んでみたい、あるいは、これからも宇都宮に住み続けたい、そういう方はいないと思いま

す。やはり、宇都宮の顔であります中心市街地を、これからも活性化していかなければなりません。ご提案を数々いただきましたので、それらを一つ一つ着実に進めて参りたいと思います。また、LRTであります。このLRTは交通が便利になるからということだけではありません。先ほど申し上げた、環境の問題にも大変やさしいのがLRTです。そして、最も大切なのは、高齢者、また交通弱者といわれる方々にも、大変便利です。なぜならば、段差がありません。そして静かでゆっくりと走ります。高齢者や交通弱者の方々にとって、やさしいということ、段差がないということは、車椅子の方、あるいは、小さな幼児をお連れになった乳母車を押している方々、そういう方々でも自力で乗れます。段差がなくて、横を通っても分からないくらい静かな乗り物であります。そういった乗り物が、もし、宇都宮に導入することができたら、これは環境、そして高齢者、交通弱者だけでなく、宇都宮全体の魅力につながります。今まで路面電車が走っていなかったところに、初めてLRTを導入したところはありません。もし、宇都宮が早期に導入することができたら、日本で始めてLRTが走るまちということになります。多くの方もおそらく見学に来るでしょう。そして、観光としても大きな役割を担っていきます。あらゆる面で、総合的にLRTの導入というのは、大きな大きなプラスの遺産を生むことになります。現実的なことを考えると、財政は大丈夫なのかと心配する方もいらっしゃいます。地下鉄はさすがに宇都宮の財政でも少し難しいと思いますが、LRTであれば、宇都宮の財政にとっては、まったく心配ありませんし、言うならば、宇都宮の身の丈に合ったものがLRTという道具でありますし、LRTを含めた公共交通です。ご提案の中に、宮環を一周したらどうかという話がありました。大きな夢だと思います。そして宮環だけではなくて、宇都宮の縦軸のJR線と東武線、そして横軸のLRT、そこに加えてさらに、8の字に宇都宮全域をLRTが走っていく、そういう社会を実現するために、大きな夢を持ってください。そして、LRTばかりではありません。LRTだけを導入しようとするとうまく失敗します。LRTだけを導入したいとは一つも思っておりません。そこに付属するミニバスとか、あるいは乗り合いタクシー、そういったもので不便な地域もすべて公共交通でカバーをすることができる。車の運転ができない皆さんや、高齢者の皆さんも、スーパーに買い物に行ける。そして、病院に行くこともでき、安心して生活ができる。そういうまちを日本の中で先がけて、宇都宮は作っていきたいと思っています。

ぜひ皆さんには、これからは背負っていただく若い方々ですから、大きな夢を持ってください。そして、自分の人間力を高めてください。そして、皆さんからいただいた提言を、確実に一つ一つ実行して、皆さんの夢を叶えられるような宇都宮を作っていきたいと思います。今日は、本当にありがとうございました。50万人の市民を代表して、心から感謝を申し上げまして、講評といたします。ありがとうございました。